

## 16. 尾道市最高峰

### 観音山 (472.1m)

尾道市瀬戸田町



観音山は瀬戸田町の生口島にある山で、麓はかんきつ栽培が盛ん。別名「火籠山」とよばれ、のろしを上げていたことに由来するらしい。雨乞い祈祷の霊場でもあるらしい。

尾道市 2017,4,1 推定

<面積>	285.11 km <sup>2</sup>
<人口>	135,545人
<人口密度>	475人/km <sup>2</sup>

【山行日】 12月17日(日) ☆天候：晴れ時々曇り

【参加者】 27名 CL坂井エイコ SL三浦美雄子・若林壽恵

中島(美) 川野 宮木(一) 宮木(澄) 小川 兼本 松本 原田 藤原 磯辺 得本 大坂  
合志 反田 滝 中島(恵) 中島(靖) 杉山 若木 若林 田所 栗栖 新江 谷本 川谷

【コースタイム】

県庁北 8:00⇒新幹線口⇒中筋⇒小谷P (トイレ休憩) ⇒しまなみ海道⇒

瀬戸田町垂水からの登山口 10:40⇒観音山山頂 12:00 (昼食休憩) 12:55 下山開始

→伊豆里峠 14:00⇒トンネル下登山口 14:10⇒しまなみ海道のPでトイレ休憩⇒

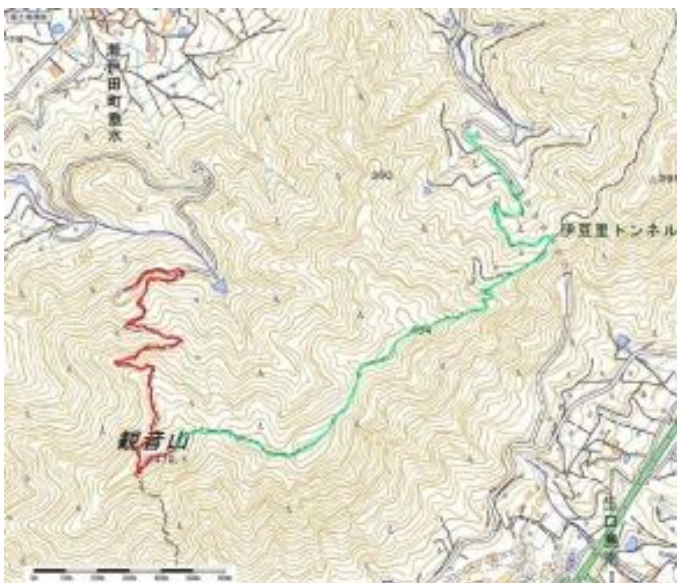
中筋駅 16:00頃⇒県庁北⇒新幹線口

【報告】

前日は雨で心配したけど、参加者に天気男&天気女がいたのだろう。晴れの天候でみなさん気持ちよく歩いた。参加者が27名だったので、下見に参加した若林さんに急遽SLのお願いをしてCL1名、SL2名で歩く。

垂水登山口から瀬戸内海の風景を堪能しながら地元の人に親しまれている鐘撞堂に1時間で到着。全員が鐘をたたくと地域の迷惑になるので代表4名が打つ。いい音。心が洗われる。山頂までは1分。島・海・島の多島美を心ゆくまで眺め、「いつまでも眺めていたい」という言葉を後ろに昼食をとる広い所まで移動。風は冷たくなかったけど、じいーっとしていたりやぱり寒い。三浦さんお手製の甘酒をいただき、1時間後に下山開始。

伊豆里峠辺りで、昔は作っていたらと思うられるキウイ畑の傍らを通る。今は手入れが

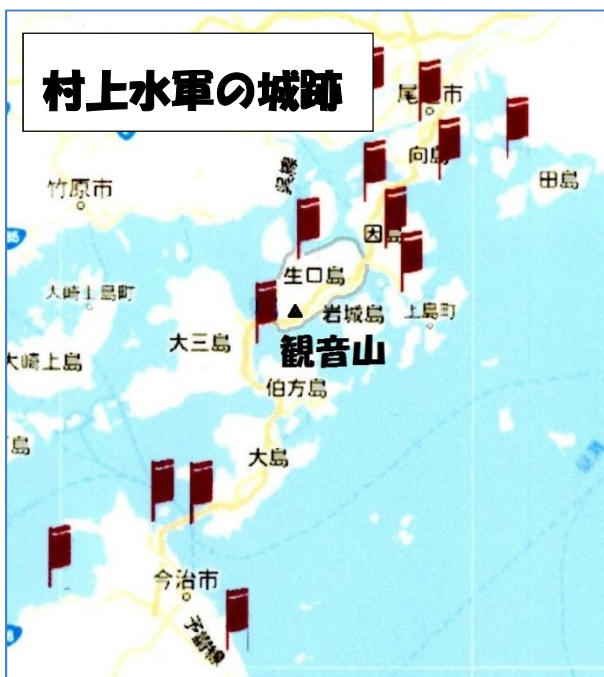


されていないので気がつかない方がいいが、キウイが鈴なりになっているので気が付かないことはない。少しずつたいて下山する。1時間余りで伊豆里登山口到着。

伊豆里峠の分岐で後方の人(4名)が中野ダム方面へ行った。4名はすぐ気がついて連絡が通じ、大事に至らず全員で無事下山することができた。分岐ではリーダーが後方の人を待つのが鉄則だが、それを怠った。反省。  
(記 坂井エイコ)

## 観音山は芸予諸島の最高峰でもある。

村上水軍は南北朝から戦国時代にかけて、尾道から今治辺りまでの芸予諸島を勢力下に活躍した海賊衆として有名である。観音山のある生口島は、村上氏の本拠地青影城があった因島と村上水軍氏神の大山祇神社があった大三島とのちょうど間にある島で、小早川氏から分立した生口氏が支配する水軍も村上水軍下で活躍した。瀬戸田は中世、瀬戸内海有数の港で、その頃の瀬戸内海の水運状況が分かることで有名な兵庫港入船記録『兵庫北関入船納帳』にも名前が残っている。塩、米、麦、鉄などを運んでいたようだ。



観音山の目の前は、多々羅岬、伯方島と大三島の間の難所の鼻栗瀬戸。観音山は芸予諸島の最高峰で、のろしを上げていたという言い伝えがあるように航行する船を見渡すには絶好の場所だったように思える。

大三島と伯方島の間には鼻栗瀬戸、大島、四国本島も見える。



参考：日本遺産 村上海賊 公式サイトより

### 尾道市最高峰 観音山山頂で

甘酒がおいしかった！！



### 今までやまぼうしで登った尾道市の他の山

高見山(因島)  
白滝山(因島)  
鳴滝山